

# 明倫

題字：榎村正直

平成十九年一月二十日発行  
明倫自治連合会広報委員会  
発行部数2000部

## ※ 本年も宜しくお祈いします。 ※

### 亥子「瓜坊」よ元気に育て

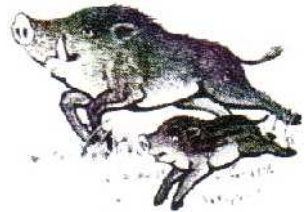
明倫自治連合会 会長 吉田孝次郎

先の国政調査の結果、京都市内で一番人口が増えたのは当明倫学区であったという。これは実に喜ばしいことでもあります。

近年、区民運動会の賑わいはこの事実を裏付けていて嬉しい。

小学生や学齢にとどかない幼児達が、グラウンド東側に置かれていた跳び箱やマット、平均台で自在に遊んでいたその姿は、私達のその頃となんら変わることもなく、この遊びは子供なりの自然発想、誰かが転んだはずみに頭を打って、泣きだして、一時止まったものの、直ぐに元に戻ってはしゃいでいた。

今年「亥」の年、若い「瓜坊」に恵まれて明倫学区中が賑やかになるとを念じる新年です。



### ◆トピックス◆京都市が「新たな景観政策素案」を公表！

京都市では昨年十一月末、「新たな景観政策素案」を公表しました。

市民しんぶんによる広報や意見募集もありましたが、特に明倫に関係が深いと思われるポイントについて、概要をまとめてみました。

#### (基本的考え方)

- ・ 極端な採算重視により、周辺との調和を乱す建築が進み、伝統的コミュニティが崩壊、町並み景観が大きく変容したことを反省。
- ・ 先人が伝えてくれた共有の財産である景観を、良好な状態で未来に継承することは、今の京都市民の責務。

#### (高さ規制の見直し)

- ・ 田の字地区(烏丸沿道)は31mに。
- ・ 職住共存地区(その他)は15mに。
- ・ (建物のデザイン基準の見直し)  
屋上は勾配屋根に。

- ・ 外壁は道路等から90cm以上後退、京町家と調和する素材及び和風意匠の外観(職住共存地区)。
- ・ (広告物等に関する規制の見直し)  
屋上広告物の禁止。

- ・ 点滅式照明、可動式照明の禁止。
- ・ 道路に突出する看板の禁止(幹線道路)。

### 平成十八年 明倫十二ニュース

年頭にあたり、明倫の去年一年を振り返ってみました。

#### ●地区計画の方針決定

祇園祭を受け継ぐ風格のあるまち、商いと暮らしが響き合うまちをめざして。

#### ●時代祭で大当番

勇ましい流鏝馬姿が勢ぞろい。芸術センターが鎌倉時代にタイムスリップ。

#### ●自治連合会の分担金改正決定

現状に合った公平な分担に向け、ご協力をお願いします。

#### ●自治会館の使用契約を明文化

京都市との間で、明倫自治会館(元幼稚園)の使用契約を明文化。

#### ●四年連続で無火災更新

安全・安心のまちづくりで、明倫の連続無火災記録をさらに延ばそう。

#### ●祇園祭は十四年ぶりの大雨巡行

たとえ大雨が降っても年に一度のお祭。心意気で巡行決行。

#### ●消防団に女性団員初登場

明倫学区にも待望の女性団員が。男女を問わずまだまだ募集中です。

#### ●卓球倶楽部、秋の中京大会準優勝

卓球倶楽部、中級の部で準優勝。これから優勝をめざしての活躍を。

#### ●通信病院の協力で救命訓練

地域医療の拠点として期待される通信病院。引き続き協力関係を増進。

#### ●池坊学園とコラボレーション

アートに関係が深い明倫。地域の人たちを対象とした公開講座などを共同で。



### 時代祭

平成十八年の時代祭大当番に際しましては、学区挙げての御協力を頂き、天候にも恵まれ壱番大将として、威風堂々と都大路を進まれました事は、誠に御目出度く、皆様の御蔭と厚く御礼申し上げます。

祭事委員長 中尾金次郎

### 「憧れの時代祭」

おかげさまで、今年が一番大将を無事につとめることが出来ました。これもお世話役のみなさまはじめ、明倫学区のみなさまのお力添えの賜でございます。ありがとうございます。



二十三年前に父が大将、そして私が弓武者で参列させてい

ただいた時は、ただただ鎧の重さで痛かった思い出ばかりでした。

ただ、馬上の父は「カッコ良く」、やっぱり時代祭は大将さんやなあーと憧れておりました。憧れの大将さん馬上は素晴らしく、晴れやかな気持ちになりました。

壱番大将役 酒井宏彰 (百足屋町)

たくさんの方が、お祭をささげていることが分かりました。弓武者のいしように重たかったので、

次に出る時は、馬に乗ってみたいです。弓武者役 浅田拓夢 (百足屋町)

時代祭にでてすぐうれしかったです。来年からはTVでみたい。

童役 浅井薫 (百足屋町)



### 団塊の世代の方々へ

「団塊世代の皆様、定年退職おめでとうございます!!」と言われて、素直に喜ばれる方、不愉快に感じる方、夫々におられて当然です。

特別支給の厚生年金が支給される63〜64歳(男性)まで数年ありますから、再雇用されるか職場に残られるかもしれません。私は、キッパリ60歳の誕生日に、リストラの嵐や早期優遇退職勧告をすり抜け無事に定年退職しました。

定年退職してからは地域に貢献するために、鯉山町、(財)鯉山保存会、明倫自治連合会の委員会や諸行事には積極的に参加し、中京消防団明倫分団員となり文化財(祇園祭)や地域の火災予防に務め、マンション居住者が地域のことを少しでも理解しようとしている姿をアピールすると共に、毎朝(雨天を除く)少しでもきれいな環境でより良い商いが出来ますように、健康維持のために町内の門掃きをさせていただき、「鯉山町にローレルコート室町があつてよかった」と言われるように努めています。

趣味を生かして、中老連の「太極拳教室」に通い足腰を鍛え、祭り好きな人が集いまつりを楽しむ「京のまつり研究会」。愛宕さんについて夫々が自由に語り合いながらお互いに見聞を広める「京都愛宕研究会」。などに入会し機会があればできるだけ多く外出して、いろんな人と接することにしてまいります。

今までの「職縁社会」から「地縁・好縁社会」へ移行してほしいものです。職場との関わりも健康保険の資格が無くなることも疎遠になります。

これからは、町内会・明倫自治連合会や中京区の各種団体など関わってください。明倫元学区には、明倫自治連合会、各種団体・委員会が21組織あります。詳細は、「明倫」ニュース第13号(5月20日発行)に記載されています。

できるだけ早く地域社会にデビューして明倫元学区のために力を貸してください。祇園祭の山鉾町内であればせつかく住まれて居るのですから、祇園祭に関わってまつりを楽しんでください。町内会に活気がなければ、いろんなサークルや行事を提案して活き活きするようにされたらどうでしょう。

在住者とマンション居住者(いろんなジャンルのknow-howを有している人達)が共生してこそ、活気のあるより良い地域社会が築いて行けるのではないのでしょうか。

赤井又三郎 (鯉山町)

第十四回 鯉山町

(こいやまちょう)



鯉山町の町名の由来は、中国の故事「黄河の中流にある激流の難所で、鯉が滝を登って龍になり、出世開運の神として祀られた」という、『登龍門』にちなんで作られた祇園祭の山の名をとって慶安元年(一六四八)から鯉山町と名付けられました。

鯉山の工芸装飾品が貴重であるのはご承知のことですので、今回はこの鯉山にまつわる「むかし話」が伝えられているのでご紹介いたします。

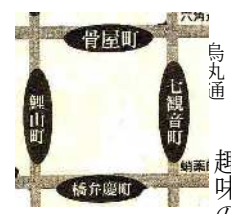
町内探訪

『むかしむかし、室町の六角あたりに、たいそう正直なひとりの男と、曲がったことが金輪際きらいな大家さんが住んだりました。ある日、大家さんが用事で大津まで行かした折、こたく用事をすませて受け取った小判三枚をふところに、琵琶湖の渡し船に乗らしたたんやそつとす。ねほけまなこでふところから手ぬぐいを出そうとしはったその拍子に、さつき貰うたばかりの小判を三枚とも琵琶湖に落としてしまりました。広い琵琶湖のことみつかるはずがおまへん。しかたなくあきらめて京にもどると、大家さんはさつそく正直ものの男に一部始終を話さ

はつたそつとす。

それから二、三日したある日のこと大津から川さかな屋がおつきいこいを売りに来たので、その男がこいを買わはつたんどす。そして、そのこいに包丁を入れはると、なんとまあ不思議なことに腹の中から小判が三枚とび出してきましたそつな。正直ものの男はとつさに大家さんがこないだ琵琶湖で落とさはつた小判に違いないと、大家さんの所に飛んで行かはりました。ところが大家さんはしばらく考えたうえで「その小判はこいを買つたもんが貰つのが当たり前や」と言つて受け取らはりまへん。そつ言われた正直ものの男は「こないだの話とつじつまが合つやおまへんか」と言つて譲らうとはしまへん。二人ともつじつま困つてもて、お役人に相談することにしはりました。お役人は二人のあまりに美しい心にうたれ、いつまでも後の世の人にこの話を伝えたいと思わはつたんでつじやろ、「その小判でこいを彫つてもらい、祇園祭の山にしたらどつじや」と話をまとめはつたんやそつとす。二人もえらい喜んで、近くに住んではつたあの有名な左甚五郎はんに見事なこいをこしらえてもらはりました。今でも、祇園さんの祭りには、まるで生きてるみたいに元気で立派なこいの姿を鯉山に見ることができるとんどす。」(京都のむかし話研究会 編より)

このように鯉山には誇りにしている「むかし話」があり、子供会で紙芝居などにして話を伝えていきます。一時、町内から子供がいなくなり地蔵盆の行事がなくなりましたが、現在はローレルコート室町に住む子供たちが集まり賑やかに地蔵盆や子供会を開催してい



★データ  
南北に通る室町通をはさむ両側町。北側は六角通、南側は蛸薬師通(旧四条坊門小路)に面する。  
1組(東側) 12軒、2組(西側) 18軒、3組(ローレルコート室町) 135戸、駐車場3件、空地1件。  
鯉山町会長 浅見 儀明

＊お詫び  
十四号で、町内探訪を第十四回としましたが、第十三回の間違いでした。また、数箇所誤字がありましたこととお詫びいたします。



第9回 エステムプラザ

所在地 蛸薬師通室町西入る姥柳町20の2  
エステムプラザ京都四条烏丸は、平成16年3月入居開始、鉄筋コンクリート造地上11階建て、2LDK総戸数40戸です。

マンションの特徴

古き良き街並みにしつかりと溶け込んだ独特の外観は、和と洋を取り入れたクラシカルモダンな雰囲気。マンションの顔ともいえるエントランス周りには、優雅さと上品さを醸し出す天然石をセレクト。最新のニューメディア防犯カメラシステムを採用。リンドー錠。来訪者を室内から確認できるオートロックシステム。毎日の暮らしを安全に見守るステーション24時間監視センターで万全のセキュリティ対策。



合わせてフローリングから家具パネル等自由にカラーセレクションがコーディネートできる。

管理組合の実情

理事長、副理事長、理事(公会計)、監事、アドバイザーで構成。理事会は年に5回程度、総会は、年1回おこないます。

祇園祭との関わりなど

宵山の日には、一階アプローチ横に設置された、福々しい表情の布袋像が顔を出し、伝統ある祭りを祝います。町内会や自治連合会との関わりや行事の参加等について、就任したばかりでわからないことばかりです。管理組合理事長 井上 純江

<http://www.meirin-news.com/artwalk.pdf>

www.meirin-news.com

明倫ニュース第 15 号

2007/

# アートウォークin明倫

明倫学区には、近年、芸術センターを初めとしてユニークな美術館・ギャラリーなど、気軽にアートに親しめる空間が増えています。特色や経緯などの造形芸術を生み出し、発信し続けてきた美の拠点である6つの美術館・ギャラリーを紹介します。  
※印は区域外ですが一度は訪れたいミュージアムですので掲載しました。

## 大西清右衛門美術館

開館時間 10:30~4:00 (月曜日休館)  
千家十職の一つ、16代目大西清右衛門家に伝わる、お茶釜や茶道具美術品を会集展示している。産地町の町名に表されるように、この町内で茶釜の製造が行われていて、今でも続けられている。美術館が開設して9年目。展示は企画のみで、春と秋の年2回。  
\*有料 (¥700、大学生¥400、高校生以下・身障者は無料)  
\*春の企画展は3月27日から。



## 東京都国際マンガミュージアム

開館 10:00~20:00 (休館日 水曜日)。有料  
元麹池小学校を全面改装して11月に開館。京都市と京都精華大学の共同運営。世界中の漫画・コミックを収集している世界初のミュージアム。  
卒業生には懐かしみの麹池小の校歌が流れ、写真も展示されている。アニメーションに関する資料やキャラクターグッズなども収集されており、昭和初期の漫画、紙芝居には筆者も感激!  
是非、一度足を運ばれることをお勧め。



## 徳心画廊

京町通りに面した豊山町の画廊。西田義心さんが5年前から、精神性を生かした「墨・日本画」の作品を中心にコレクションを提示。  
日本画では「秋風」。書では近代中国の政治家・書家「于右任」のコクターとして有名な、現代中国で記念館をつくるために、コレクションの書作品を貸して欲しいと依頼が来ている。  
もし、貸ギャラリーとしての依頼があれば、相談に応じますとのこと。



## 千歳ギャラリー

開館時間 10時~17時 (土曜日は10時~15時)  
千歳は、成金の乱後に法衣を始め、江戸時代中期には法隆寺の小僧を平がける。  
平治には「衣業の千歳」と言われるほど隆盛を遂げ、伊竹堂、幸齋堂、公養堂、竹内園、徳心堂など明治維新の華やかな商家が支那の下絵を作成。京支那を芸術性の高い意匠とすることに貢献。  
平成元年竣工の千歳本社ビル2階に、ギャラリーを開設。創業40余年を誇る千歳の歴史と文化、数千年に及ぶ美術品、染織品が収められ、年5~6回の展覧会で公開されている。  
祝慶祭時には、祭風、浴衣など、シーズンに応じた展示が企画されるので、前夜祭で気軽に衣装して欲しいとのこと。  
\*入場無料 (団体は要予約) 休館日 日祝第3土曜日  
\*年末年始、夏期休館、始末時休館有



## 京都芸術センター

10:00~20:00 (定休 年々平均と祝祭祭時の3日間)  
昭和6年に改装された元明倫小学校の建物。大広間、講堂、研究室など、歴史的価値があるものを残して改装。平成12年京都芸術センターとしてオープンした。  
ジャンルを問わず、若い世代の芸術家の創作活動を支援し、国内外の芸術家と市民の交流の場として、また都市文化の創造拠点としての役割を担う。改装の後、芸術家などは年2回の企画展によって審査のうえ使用できる。  
上展・専業など企画によって有料の場合もあるが、展示は原則無料。



## 染・清流館

開館 10:00~18:00 (11月~3月)、11:00~19:00 (4月~10月)  
(休館日: 月曜日)  
昨年10月に開館した世界初の現代染色ミュージアム。京都を中心に活動する染色作家の作品展として高い評価がある。大谷和の染色美術展を主催する「清流会」が主体であり、1991年から収集された秀作500点を順次開展。  
オープニング記念展「現代の染」は10月より2月までテーマごとに開催しています。会場は曇りの際となり、和調とモダンとの融合が作品鑑賞を一層深めてくれるように思います。  
\*有料 (¥300)  
\*1月「染表現の多様性」、\*2月「未来を拓く」



## 梅軒画廊

10:00~19:00 (定休日 日曜・祝日)  
長九郎という歌や小説にも関わらず、静寂閑と風格を持った建物。大正5年に日本画家竹内順風より「梅軒画廊」の屋号を命名され、小説「序の舞」に登場する「羽織物」のモデルにも。  
日本画・洋画の作家に新作を依頼し、毎年7月に開催している「梅軒会展」は、この画廊最大の企画展。  
オーナーの佐藤氏は京都において21世紀においても評価され続ける継ぐ優れた現代作家を育てていきたいとのこと。  
\*入場無料



## まむろまちアートコート

池田短期大学が運営し、「むろまち美術館」として築まれてきた施設を、新しい時代に対応すべく全面改装。今年2月から「まむろまちアートコート」として発見する。  
京舞の、製菓家町に位置する立地の優位性を生かし、芸術系大学、美術団体、新進作家の作品発表の拠点として、また地縁に根ざした芸術活動に寄与する展示空間として社会的使命を果たす。  
\*展示内容 美術作品としての平面、立体、工芸、染織、ニューメディア、ミックスメディア  
\*使用形態 年間約200回の企画及び貸し展示空間



### 明寿会の遠足

〜天橋立から丹波へ〜

京の街からでる

明寿会一行三十一名は、十月十五日、朝八時、京都の街を抜け出し、バスで一路西へと向かいました。快晴の空は老ノ坂トンネルを抜けると一転して霽に包



まれた灰色の世界となりました。しばらく走ると空は美しい秋の空にもどり、ホツとした。

### 文殊堂にて

天橋立に到着。食事前に時間があるので、付近を散策する事になりました。先ず文殊堂にお参りして、知恵を授かり、海産物のお買物でした。

ここでは、色とりどりの和服姿の女性が行き来し華やかな雰囲気でした。絹織物の里で、着物のイベントが行はれていたようです。

### 丹波春日の黒豆

緑の育つ大地を見渡すと、心の安らぎを覚えます。いつもアスファルトを踏みしめ、コンクリートの建物に囲まれ生活している我々には、畑に接する機会は滅多にありません。農家の方が丹精こめて育てた畑に入って黒豆を採りました。

枝からちぎって袋に詰める作業の繰り返し、手についた匂いが何かなつかしい。みんな、満足そうに黒豆の入った袋を持って、バスに乗り込みました。

### コスモス畑 水上町清住

濃い緑の山々に囲まれた盆地。澄み切った青い空。秋の透明な光に映えてコスモスたちは美しい姿を見せていました。一つ一つは、可憐な姿ですが何万本という数で咲き競う美しさには、圧倒されました。遠くから大鼓の音が響いてきました。

### 道の駅で

おばあさんの里。道の駅の名前です。村おこしの一つで作られた立派な店は、手作り農産物で溢れていました。お値段が手頃なのかお客さんで一杯。レジも満員でした。皆さんのお土産は増える一方です。

### 帰りのバスで

提案があつて、帰りのバスでは、童心に返って昔の小学唱歌をみんなで歌う事になりました。舞鶴自動車道を南下するバスの中はなつかしい歌声が響き渡りました。

明寿会 五藤

### 第十回 ペトロフコンサート

十一月十二日

今年にはモーツアルト生誕二五〇年に当たり、世界中でモーツアルトのコンサートが行われていますが、これほど珍しく、面白いコンサートは無かったと思います。

それは後半のプログラムで演奏者が三人以上二十八人まで代わられるという

モーツアルトの名曲メドレーを二人の奏者がくるくると交代しながら弾くという、見た目の面白さと曲当ての楽しみと両方楽しめる実に愉快な曲の演奏でした。



もちろん前半の三曲の連弾も素晴しかったのですが後半のこの曲や本当の意味での連弾曲（連弾の為のソナタ）の演奏はモーツアルトの真の素晴らしさを感じられる息の合った二人の連弾に大きな拍手が送られました。

記 長谷川

※次回のペトロフコンサートは、2月12日(月曜・休日)午後三時から

### 体育振興会から

### 明倫区民運動会

平成十八年十月八日(日)。少し肌寒

い日でしたが、三百五十名以上の参加のもと、大きな怪我人も出ず、にぎやかに運動会が行われました。



特に玉入れなどは、百二十名の参加があり、お年寄りから子どもまで楽しんでいただきました。一般

りレーも毎年参加人数が増え、嬉しい悲鳴をあげています。本当にありがとうございます。

### もちつき大会



平成十八年十二月三日(日)元明倫幼稚園で、明倫自治連共催のもと、二百五十名の参加者で行われまして、おたべ様提

供のあんこ、きなこでもおいしく搗きたてのおもちをほおばり、皆さん喜んでいただけたいと思います。消防団、婦人会、少年補導、交通安全の皆さん、ご協力ありがとうございました。また、保健協議会のお世話で健康体操も行なうことができました。紙面をお借りしお礼申します。



### またなかをめぐり

十一月十二日室町交流広場において、紙コップの糸電話とビニール落下傘をこどもたちといっしょに作って遊ぶ広場ができました。民生児童委員と、体振の有志でお世話させて頂きました。

五十名あまりのこどもたちでしたが、とても喜んで寒い日にもかかわらず、一生懸命絵を描き道いっばい広がって糸



電話等にはしゃいでいました。今年度もまた企画があれば、早くから広報し、もっとおおぜいのこどもたちと遊べたら、と思います。

記 北川

### ボウリング大会予告!

3月18日(日)午前10時開始  
(MK上賀茂ボウルにて)

### 自主防災会

まちなかを歩く日には中京消防署から歩行者天国となった室町交流広場に「はしご車」がやってきました。



子供も大人も「はしご車」の高さ(45M)に目を見張っていました。子供用消防服のサービスもあり、バケツリレーには豪華景品が出るという寒さを吹き飛ばすイベントに、子供達は大張りきりでした。

記 長谷川

### AED&救命講習会

十二月十六日

心肺蘇生法とAEDの取り扱い訓練が中京消防署の指導員の下に開催されました。



年末に近いとあって参加者は少なかったのですが、その分一人づつが心肺蘇生法を体験でき、また、AEDの使用法もマスターできて、充分に意義のある3時間でした。

心肺蘇生法を筆者も体験しましたが、何度もやっていると難しくなると感じました。

記 長谷川

### 次回予告!

一月十七日(土)午後二時~五時  
二月十七日(土)午後二時~五時

場所 自治会館遊戯室

### いきいきふれあいサロン クリスマス会

十二月十七日



正面には池坊学園から送られたクリスマスリース、その前にはオーケストラ、そしてご馳走とクリスマスケーキと、豪華なパーティが社協と明寿

### 明倫人 ②

明倫学区にゆかりの人物で現在各界で活躍中の人を紹介するシリーズです。今回はサントリーや、ローソンのテレビコマーシャルでも常にお顔を見かけ、皆さま「存じの服飾評論家、また「おこしやす京都委員会委員長」として大活躍中の「市田ひろみ」さんにお聞きしました。市田さんは1932年大阪生まれ、京都府立大学の学生時代を明倫学区の炭之座町で過ごされています。

「明倫学区の思い出はなんと言っても、祇園祭ですね。祭りが近づくと、放下鉾のお囃子が勉強中の窓からうるさいほど聞こえてくるんやね。お囃子の練習も一学期の終わり頃から聞こえてきて、もう勉強どころや無かった思い出がありますね。」  
「あんまり皆さん存じないかも知れんけど、戦中途絶えていた祇園祭の山鉾巡行が、月鉾など一つ一つと復興してきますやろ、それが最も楽しい思い出です。それと、四条通りをはじめとして、私はチンチン電車(北野線ですね)には、よう乗せてもうろたんやけど、それも無くなったしね……。」

「正月の思い出としては、明倫学区殆どのお店の玄関に幕をキチンと掲げられていて、正月」という気分がしましたね。また当時は道を歩けないくらいトラックも多うて、活気もありましたね。京都の中京は、戦後の発展と同時に、残すモノはチャンと残してきたと思うのね。例えば町家とか、地蔵さんとかね。そう言ったモノはやはり残すべきですね。」と懐かしそうに語られた。



現在、キモノ、マナーなどに関する著作物が70冊。NHKなどからも50本を超えるビデオ・DVDも出されている。今、毎週木曜日夜八時から6チャンネルのミステリードラマ「新京都迷宮案内」に、下宿のおかみさん役良成貞子としてレギュラー出演しておられますので、ぜひ皆さまご覧下さい。(談)

聞き手 井上

会の共催で開かれ、百名ほどの参加者がクリスマスを楽しみました。

記 佐藤

### 芸術センター

★公募 京都芸術センター2007

このたび、京都芸術センターでは、七回目の開催となる「公募 京都芸術センター2007」での入選プランを展覧します。

### インフォメーション

昨年初秋、ギャラリー二室を自由に使った展示プランを募集し、百五十六件の応募の中から審査員・鷺田清一により、池上恵一の「身体生庄」と八嶋有司の「P・A」の二つのプランが選ばれました。

池上恵一の「身体生庄」は、指圧する映像やドローイングで構成されたインスタレーションにより、自身が一貫して探求してきた「凝り」と「身体」について、見るものの触覚に直接働きかける表現へと昇華します。

八嶋有司の「P・A」は、六畳一間の自室の壁と床面をシリコンゴムで型取り、そのシリコンをそのまま展示空間に移動させ、家の形に再構築します。本棚やテレビ、ベッドなどの表面の細部のごぼごぼのみがネガのように反転して再現されます。

工程を重ねることで生まれる簡潔で抑制された表現を通して、ひとりの人物のプライベートな空間をあらわにします。

●会期 2007年二月四日(日)〜二月二十五日(日) 10時〜20時  
入場無料・会期中無休

●会場・出品作家

- ギャラリー北 八嶋有司 / 「P・E」
- ギャラリー南 池上恵一 / 「身体生庄」

※北ギャラリーでは、二十四日(土)に型取ったシリコンゴムを解体、梱包します。作業は公開いたします。最終日二十五日には、形を変えた作品を再度展示いたします。

★アーティスト・イン・レジデンス  
ダンス公演

Liz Lerman Dance Exchange (リズ・ラーマン・ダンス・エクスチェンジ) は、年の差60歳という個性的なダンサーたちにより構成されるカンパニーです。

長年にわたる、中高年や障害を持つ人をはじめダンス経験がない人たちとの創作活動が、国内外で高く評価されてきました。

二〇〇四年に京都芸術センターのレジデンス・アーティストとして京都に滞在し、20代〜90歳までの参加者たちと異世代間のダンス交流で反響を呼びました。

今回、待望の再来日が決定! さらにパワーアップしたプロジェクトを展開します。この機会をお見逃しなく!

今回も、シニア(中高年) / ヤング・ダンサーとのワークショップを通じてダンス作品を創作します。なおその成果は京都芸術センターにて上演します。

明倫学区からも多数出演されます。是非ご覧ください。

●公演三月十一日(日) (時間等詳細は後日決定)

明倫夜話の座のお知らせ!

日時 2月21日(水) 午後七時〜  
場所 京都芸術センター  
(三階ミーティングルーム)  
お話し 京ことばの会② 中島さん

編集後記

平成十四年(二〇〇三) 5月20日に創刊号(一四〇〇部)が発行され、このたび第15号(二〇〇〇部)にまで成長しました。編集会議に始まり、印刷・二ツ折・配布手続と、和気藹々楽しく広報委員会に参加し、隅から隅まで読んでいただけるように努力いたします。



赤井

新年あけましておめでと(う)ございませう。毎年3回しか発行できてませんが、それでも十五号が出来てきました。印刷していても、どれだけの方々が読まれているかは正直わかりませんが、地域情報の大切さは昨今の社会状況から、ますます、よく理解します。また団塊世代の問題がクローズアップされています。今年「会社」から「地域」へと、大きく行動指針が変わる予感がしますね。



井上

誰でもが、この学区のことを何でも知ってる!と言えぬ情報誌目指したいな



北川



小島

明倫学区のまちづくりの様々を伝えるため、紙面をより以上に充実させるために努力したいと思っています。よろしくお願ひします。

昨年は、まちづくり委員会が三年かけて取り組んできた「地区計画の方針」が都市計画決定されましたが、ここへ来て京都市が画期的な「新たな景観政策素案」を公表。今後まちづくりに関する内容を中心に情報をお伝えします。



河野



佐藤

このところ、社協のいきいきふれあいサロンの取材が専門になってしまいました。



長谷川

平成十四年よりはじめた明倫ニュースも十五号(五年目)になりました。学区の様子も日々変化し続けていることを実感しています。地域に誇りを持ち、まだまだ紹介できていない明倫学区の素晴らしい情報を提供したいと思っています。